

松江市営バスで行くバス旅行「市バス（T a b i）さんぽ」の再開

松江市交通局では、感染拡大に伴うツアーへの影響が、2020年2月頃から出始め、3月以降はすべてのツアーが催行中止に追い込まれました。約半年後の9月末になり、やっとの思いでツアーを再開しましたが、なかなか明るい展望が見通せない中でのスタートでした。

ツアー先は、感染拡大が見られない近隣県のみとし、宿泊を伴わない日帰りを基本としています。

貸切バス旅行連絡会並びに日本旅行業協会・全国旅行業協会のそれぞれのガイドラインに基づき、乗務員・利用者の体調管理（検温、問診票による体調チェック）やマスク着用、アルコール消毒液での手指消毒の励行を徹底するとともに、募集定員を半分以上に設定し、乗客同士が一定程度の距離を確保できるように配慮しています。

加えて、ツアー先での立ち寄り先が、適切な感染拡大防止策を取っているのかを予め情報収集したうえで選定するなど、利用者を与える「安心感」を念頭に、出来る限りの感染拡大防止策に取り組んでいます。

出発前の体調管理（検温）



今回、秋冬号として 27 本設定し、11月10日現在で7本中4本を催行したところです。今後 20 本のツアーを計画しており、うち 2 本は最少催行人数未達のため中

止となりましたが、残りの 18 本は催行できるものと見込んでいます。中には、満席のためキャンセル待ちのツアーや、人気のあまり 1 台から 2 台に増便するツアーも出てきており、ツアー再開時点で抱えていた集客に対する不安も、幾分和らいだように感じているところです。

集客状況について少し触れますと、政府の目玉施策である「Go to キャンペーン」事業や各自治体が独自に実施している誘客支援制度が追い風となっていることは、疑う余地のないところですが、付け加えるとするならば、利用者を与える「安心感」も集客に大きな影響を与えているのではないかと考えています。

同一団体での貸切利用、人数制限がとられている芝居小屋「出石 永楽館」



長引くコロナ禍でツアーへのニーズがどのように変化していくのか、また、今後の展望等、なかなか見通せない状況がしばらくは続くものと思っています。

新規顧客の獲得は長年のテーマではありますが、今は既存の顧客の「安心感」を高めることに注力しつつ、より魅力あるツアーを企画して満足度向上を図って参ります。

〈問い合わせ〉

松江市交通局 運輸課

電話：0852-60-1113